

## 1) 合格までの取り組み



**「あ、行けそう、でももうちょいや。」**

コツコツやっている、試験 3 週間前にこう感じました。

以下は"私の"体験に基づきます。  
人それぞれなので、その一例として考えてください。

### 【時間経過と取り組みの密度】

一言で、  
私は「基盤のあったギリギリ詰め込み型」でした。  
結果合格でしたが、おすすめはしません苦笑

ただ、授業は 2 回ほどしか休まず、  
しっかりと話をきき、イラストレーションをしながら、  
毎回の小テストではコンスタントにいい点を取っていました。  
要するに、日常で基盤ができていたということです。

具体的に、  
自習時間(授業を除く)をメモしていたので、記します。  
(前半は少な過ぎて先生に言えません笑  
後半は集中しすぎてメモすらしていません。)

### 〈7月〉

第一週目 10h  
第二週目 4h  
第三週目 6h  
第四週目 5h

### 〈8月〉

第一週目 3h  
第二週目 9h

以降は 1 日 6h とかやる日はあったかと思えます。。  
やらないと伸びない、やればじわじわ伸びます。

まとめると、  
私は「基盤のあったギリギリ詰め込み型」でした。  
もっと計画的に取り組んで、  
精神的余裕が生まれればよかったなと思えます。

### 【取り組み内容】

一問一答(1 周と間違えをさらに 1 周)

計算問題(3 周ぐらい)  
途中からおもしろくなってきます。

ゼロ申(時間なかったなので、後ろから難しいものをやりました。)  
以上です。

## 2) 通関士試験試験対策講座を受講して



### [Introduction]

はじめに、通関士の資格取得を目指す事を決めた動機から書かせていただきます。

私はいま大学二回生なのですが、二回生に進級すると同時に、私の大切な人が大学を辞めて違う大学を再受験する事を決意しました。その姿に負けじと私も何か新しい事を始めてみようと思っ色々調べた末「通関士」という資格を目指すことにしました。これはあくまで私の動機なのですが、つまりは新しい事を始める決断をする際あまり深く考えずにチャレンジしてみてください。もちろん通関士の資格を取ってやるぞ。と意気込んでいる方もよし、でも私みたいに通関士ってなんだろうっていう興味本位で始めてもよいと思います。

### [Advantage]

通関士の資格を取得して1月も経っていませんが現時点で合格して良かったなと思うことを幾つか書きます。1つ目は褒めてもらえます。素直に嬉しいです。2つ目は将来的に就職活動で有利になると言われていること。関連する会社に就職するのであれば優遇していただけることが多いそうです。直近で言うとゼミの面接が先日あったのですがそこでもこの資格が有利な方向に働き、結果として一番入りたかったゼミにも入ることができました。3つ目は自分の自信につながることです。「こんなに難しい試験に受かったんだ。自信を持って他のことにも取り組んでみよう。」となる訳です。

### [Lifestyle]

次に書かせていただくのは私のライフスタイル等です。もちろん誰も気になるのは勉強方法やそのペースだと思うのですが、その点は個人個人で適したスタイルがあると思いますし、先生が親身になって教えてくださるので、それに関して敢えて深く書きません。量的には後退りしそうなくらい多く感じますが、全てを網羅すると言うよりは効率よく吸収していき、演習時に細かい所を見ていく感じでした。試験前日までは極力今まで通りの生活時間の過ごし方で、その中でどれだけ上手に勉強時間を見つけるのかが鍵だと思います。私の場合ですと部活動で音楽活動が盛んだだったので、それ以外の時間しかなく、アルバイトの休憩時間や空コマの時間を活用して知るカフェに行って勉強していました。あとテキスト1は毎日欠かさずリュックに入れていつでも気になった事を調べられるようにしていました。荷物が重たい時は、まとめのページだけ印刷して暇な時に眺めていました。こうしておけばよかったな、と思ったことは間違えた所がどのセクションで間違えたのかを、足跡を付けて後ですぐに探せるようにしておけば良かったなという事です。似たような問題がいっぱいあるので間違えた場所に付箋を貼って跡を残す事で、それからのラスト1ヶ月くらいは能率が上がったように感じます。